

紅葉みどころマップ 第68回香嵐溪もみじまつり

期間 11月1日(水)~30日(木)

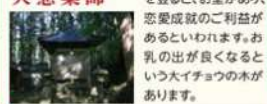
香嵐溪のもみじは今から400年前、香積寺11世の三栄和尚が寝を絶えながら植えたのが始まりで、長い間「香積寺のもみじ」と呼ばれていました。1930年に大阪毎日新聞の本山一郎社長により、香積寺の「香」、巴川をわたる興涼とした嵐風の「嵐」から「香嵐溪」と名付けられました。

足助城 再建開城30周年



戦国時代に足助を領有していた鈴木氏が築いた山城です。発掘調査を元に再建されました。本丸からの眺望が素晴らしい。

つまぎやくし 夫恋薬師



落部駐車場から階段を登ると、お堂があり、恋愛成就のご利益があるといわれます。お乳の出が良くなるという大イチョウの水があります。

つり橋(香嵐橋)付近



香嵐溪の東側にある赤いつり橋(香嵐橋)付近は、朝日がよく当たる場所。そのまぶしい光に照らされたもみじが、色鮮やかに巴川の静かな水面に映ります。ここは園地内でも比較的早めに色づき始めます。

こうじゃくじ 香積寺

香嵐溪の名前の由来のお寺



曹洞宗の古刹で、1427年香嵐溪の城主足助氏の居館跡に創建されました。開基は間白二条良基と成親三吉丸(大山城主、成瀬家の始祖)、開山は白峰禪師です。山門からの紅葉が美しい。

古い町並み入り口



足助の町並みは、尾張・三河と信州を結ぶ伊那街道(中馬街道~堤の道)の重要な中継地として栄えた商家町です。足助中馬館で「中世の足助」展を開催中。

町並みの写真を撮ってインスタグラムフォトコンテストにご応募ください。

巴橋は飯盛山のほぼ全貌を見ることができる場所で、待月橋と並んで、大変人気のある撮影スポットです。飯盛山頂までは歩いて約20分。古い町並みや遠くの足助城まで美しい眺めが楽しめます。また、神様が産つたとされる巨石の周りに足助八幡宮で購入した絵馬が掛けられます。

巴橋から

- AED 設置場所
- Wi-Fi スポット
- 撮影スポット
- 公共トイレ
- 授乳室
- 貸しロッカー
- 喫煙所

たいげつきょう 待月橋

香嵐溪のシンボルの存在の待月橋。撮影スポットとして大変人気のある場所です。また、飯盛山側の岸には「五色もみじ」と呼ばれるもみじがあり、緑、黄緑、黄、橙、赤とその名の通り、五色のグラデーションで紅葉していくのが楽しめます。



お願い

ごみは持ち込まない。捨てない。持ち帰る。

今日も、明日も、100年先も、美しい香嵐溪を守るためにご協力をお願いします。



香嵐溪広場



川からの冷気の影響か早めに色づきます。飲食ブースもあります。

三州足助屋敷



昔の里山の暮らしを今に伝える体験型施設で、門をくぐるとタイムスリップしたような感覚になります。機織りや藍染めなどの手仕事の見学が出来ます。

